

目次 Contents

さあ始めましょう — 手引の使い方 —	5
はじめに	10
1 課 カレブ — 信仰の人	11
2 課 ギデオン — ためらう勇士 I	16
3 課 ギデオン — ためらう勇士 II	21
4 課 サムソン — 軽率で型破りな士師 I	25
5 課 サムソン — 軽率で型破りな士師 II	29
6 課 ル ツ — 立派な女性 I	33
7 課 ル ツ — 立派な女性 II	38
8 課 エリヤ — 孤独な預言者 I	41
9 課 エリヤ — 孤独な預言者 II	45
10 課 ヨシャパテ — 揺れる指導者 I	49
11 課 ヨシャパテ — 揺れる指導者 II	53
12 課 まとめ	57

1 課

カレブ—信仰の人

民数記 13:1-14:38、ヨシュア記 14:6-15

カレブはイスラエルの民がエジプトを出てから、カナン之地(現イスラエル・パレスチナ地方)に入るところに活躍した人です。

神は、イスラエルの先祖であるアブラハムとその子孫にカナン之地を与えると約束しました。しかし、アブラハムの孫のヤコブの代になって、ヤコブとその息子たちは、カナンの地でおきた飢饉から逃れるためにエジプトに移住しました。それから400年ほどたった頃、イスラエルの民はエジプトにおいて奴隷となっていました。神はモーセの指導のもとに、イスラエルの民を奴隷としての苦役から解放し、かつて約束したカナン之地を与えるために荒野の旅を導かれました。

カレブは、カナン之地を探る偵察隊の1人として名前があげられています。神は、荒野の旅の間、民を水と食物で養い、敵の手から何度も救い出すことによって、その偉大な力と愛を示してきました。

民数記 13章

- 1 主は、カナン之地を探るためにどのような人を遣わすようモーセに命じましたか(1-16節)。
- 2 a. モーセは偵察に行く者たちに、どのような指示を与えましたか(17-20節)。
b. 偵察隊は、遣わされたカナン之地でどのようなことを見てきましたか(21-29節)。
- 3 偵察隊の報告を聞いて、全会衆[共同体]はどのような反応をしていると思いますか。

- 4 a. カレブの見解は他の偵察員とどのように違っていますか(30-33節)。
b. この時のカレブの気持ちを想像してみましょう。

民数記 14:1-38

- 5 偵察員の報告を聞いた民は、どのような反応をしましたか(1-10節)。
- 6 ヨシュアとカレブは、他の10人の偵察員とは反対の提案をしています。彼らは、同じ状況を見ながら、なぜ攻め上ることが出来ると確信しているのですか。
- 7 もしあなたがこのふたりの立場に立たされたとしたら、どのような葛藤を覚えると思いますか。
- 8 a. 「主にそむいてはならない。その地の人々[その住民]を恐れてはならない。」というヨシュアとカレブの訴えに対して会衆がとった態度を、神はどのように見えていますか(10-12節)。
b. イスラエルの民は、なぜふさわしい判断が出来なかったのでしょうか。
- 9 a. モーセのとりなしに答えた主は、イスラエルの民の不信仰に対して、どのようなさばきを下すと語っていますか(20-36[35]節)。
b. 民の不信仰にもかかわらず、主の約束はどのようなかたちで受け継がれていきますか(30-38節)。

- 10 12人の偵察員は、どうなりましたか(37-38節)。
- 11 a. 10人の偵察員が下した結論(13章31-33節)は、民にどのような影響を与えたでしょうか。話し合みましょう。
- b. 目に見える状況だけを頼りに結論を出したイスラエルの民は、何を見落としてしまったのでしょうか。
- 12 後に、モーセがこの時のことを思い出して語っている個所を見ましょう(民数記 32章10-12節)。
- a. イスラエルの民は、主に信仰をおいてエジプトから出発しましたが、目に見える状況に左右されて、カレブやヨシュアのように従い通すことが出来ませんでした。「従う」と「従い通す」ことには、どのような違いがありますか。
- b. あなたがイスラエルの民のひとりであったとしたら、どのような行動をとったと思いますか。
- c. あなたは信仰者として、どのようなことで主に「従い通す」ことを求められていると思いますか。
- d. 主に従い通したカレブとヨシュアに与えられた祝福は何ですか(申命記 1章34-36節参照)。

ヨシュア記 14:6-15

- 13 カナンの地へ偵察に行った時から45年経ち、カレブはヨシュアとともに偵察員としてその地に行ったことを回想しています。カレブは、自分が他の偵察員と明らかに違っていたのは、どのような点だったと言っていますか。

- 14 a. カレブは、現在の自分自身についてどのように語っていますか(10-11節)。

b. カレブはこれから何をしようとしていますか。

c. なぜそうするつもりなのですか。

注) カレブが求めた城壁のあるアナク人の町々とは、まさしく45年ほど前に偵察隊が見てきて恐れ、イスラエルの民を震え上がらせたあの町々のことです。

❀ まとめましょう ❀

- 1 カレブはどのような人ですか。彼の性格についてわかることをあげましょう。
- 2 カレブは、その生涯を通して、主をどのようなお方としてとらえていたと思いますか。
- 3 あなたは、カレブから何を学びましたか。また、それをあなたの生活にどのように生かすことが出来ますか。
- 4 60-61ページにある表に、カレブについて学んだことを書きとめましょう。

・むすび・

カレブは偵察隊のひとりとして選ばれました。彼は意見が分かれた時に、多数派に屈せず、困難と見える道を信仰をもって選ぶことを進言しました。神がともにいてくださるということを確認していたのです。彼の信仰による決断が、彼自身と子孫の行く末を決定しました。カレブは、恐れる民を説得することは出来ませんでした。生涯神に従い通しました。そして、不信仰になった者たちの悲惨な結末も見とどけました。カレブの生涯は、神が真実なお方であることを証しているのです。

・祈り・

主よ、カレブがあなたに従いきった姿に励まされます。
困難と危険ゆえに多くの反対がある中で、
信仰に立ち続けることは、どれほど大変なことだったでしょうか。
カレブのように、私たちもあなたに従い通せるよう助けてください。
年をとっても、カレブと同じ勇気と情熱をもつことができますように。

イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。